

令和6年度「平和の集い」開催

松戸市では、「世界平和都市宣言」に基づき、核兵器の廃絶と世界の恒久平和を祈願するとともに、悲慘な戦争を風化させることなく次の世代に継承し、改めて平和の尊さを認識していただくイベントとして令和6年度「平和の集い」を以下のとおり開催します。

●日時 令和6年11月24日（日）13時～15時30分 ※開場12時30分

●会場 松戸市民劇場ホール（松戸市本町11番地の6）

※駐車場無し

●内容 ◇13時15分～ 平和大使長崎派遣報告会

今年度、長崎市を訪問した平和大使（市内中学生）が、派遣を通じて学んだことや感じたことを発表します。

◇13時35分～ ピースセッション

異なる文化を持つ世界各国出身の方々が集い、平和について考え、意見交換した成果を発表します。

◇14時05分～ 地球のステージ MATSUDO 2024

世界中を巡り医療支援活動が続ける現役医師の桑山 紀彦 氏が、世界で現実に行き起きている紛争・災害・貧困の中で生きる人々の姿を音楽と映像と語りを組み合わせたコンサートステージで伝えます。

※プログラムの進行状況によっては多少時間が前後する場合があります。

●定員 先着200人 ※申込み不要

●費用 無料

●その他 広島市原爆 VR ゴーグル体験会 ①②各先着8人

時間：①12時30分～②終演後～ 場所：松戸市民劇場ホール前2階

広島市から借用した VR ゴーグルを使用し、被爆前から現在に至る広島の様子を再現した VR 映像の体験会を開催します。



平和大使長崎派遣



桑山 紀彦 氏

【本件に関する問い合わせ先】

〒271-8588 千葉県松戸市根本387-5

松戸市総務部総務課 ☎047-366-7305

FAX 047-363-3200 ✉ mcsoumu@city.matsudo.chiba.jp

「平和の集い」



日時 2024.11.24(日) 13:00～15:30(開場12:30)

会場 松戸市民劇場ホール

〒271-0091 松戸市本町11番地の6

松戸駅西口徒歩5分

※駐車場がありませんので公共交通機関をご利用ください。

費用 無料

定員 先着200人(申込不要)

※手話通訳・要約筆記あり

プログラム

■ 平和大使長崎派遣報告会

ー今年度、長崎を訪問した平和大使(市内中学生)が、派遣を通じて学んだことや感じたことを発表します。

■ ピースセッション

ー異なる文化を持つ世界各国出身の方々が集い、平和について考え、意見交換した成果を発表します。

■ 地球のステージ MATSUDO 2024

ー紛争・災害・貧困の地でたくましく生きる子どもたちの姿を、世界中を巡り医療ボランティアを続ける桑山氏が音楽と映像と語りで伝えます。



広島市原爆 VRゴーグル体験会

先着

広島市の原爆被害等が視聴できるVRゴーグルの体験コーナーです。皆様の参加をお待ちしています！

【場所】市民劇場ホール前(2階)

【時間】①12:30～

②終演後～

※①②各先着8人



NPO法人
地球のステージ代表理事
くわやま のりひこ
桑山 紀彦 氏

※内容が変更となる場合があります。
最新情報は市ホームページをご覧ください。



松戸市ホームページ
「平和の集い」

『平和の集い』は、平和基金を
活用して事業を実施しています。



松戸市ホームページ
「平和基金」

○ 公演者プロフィール

NPO法人 地球のステージ代表理事 桑山 紀彦 氏

これまでタイ-カンボジア国境の難民キャンプを皮切りに、湾岸戦争後のイラク、ソマリア、旧ユーゴスラビア、カンボジア、東ティモールなどで医療支援活動が続けている医師。現在も年に数回、東ティモールやウガンダで医療支援活動を展開している他、地震等の緊急医療救援、被災者の心のケアにも携わっています。

NPO法人地球のステージ代表理事。東日本大震災では自ら被災しながらも、震災翌日から2ヶ月間、24時間の診療体制で診療を行いました。その後は被災者のみなさんに寄り添いながら日々「心のケア」に携わってきました。現在は神奈川県海老名市にある「海老名こころのクリニック」の院長として、日々の診療にあたっています。



○ 公演内容

1. オープニング「国境を越えて」

2. 南スーダン難民篇3「新曲予定」

南スーダン内戦から逃れ、ウガンダ北部の難民キャンプに暮らす子どもたちと活動について伝えます。多くの子どもたちが様々なトラウマに向き合い心の元気さを取り戻していく様子をお届けします。



3. 旧ユーゴスラビア篇「国境に咲く花」

90年代に起こった旧ユーゴスラビア内戦。子どもたちの心は傷つき、ふと見せる陰った表情に戦争の深さを知る思いでした。そして忘れられない少女アリッサとの出会い。ここでの経験が、心のケアの原点です。

4. パレスチナ篇 ～ガザ戦争2023「落日の果て」

2023年10月7日に始まったガザ戦争。1年経っても終わらない戦争。現地から届く日々のレポートを綴ります。いのちの大切さ、生きることの意味、そして人との繋がりがこそが生きる支えとなることを知って欲しいと願います。



5. 東ティモール篇「燃える街の灯」

独立紛争直後から支援活動が続けている東ティモール。医療が行き届かない山間部で繰り広げられる「命を守る」ための取り組み。人の力では変えられない3つのこと。「生きる」ことの意味、人の生きるための役割を問いかけます。

6. 故郷篇「贈りもの」

足元をどう生きるか。この日本が私たちの故郷です。

7. エンディング

※公演内容は都合により一部変更になる場合がございます。予めご了承ください。